

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第3号

令和5年6月16日(金)

校長 福沢 俊之

TEL 03(3831)3787

学校ホームページ



<http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/>

↑更新中

全学年の宿泊行事を終えて

校長 福沢俊之

先月、5月には、全ての学年で宿泊行事がありました。1年生の霧ヶ峰オリエンテーション(11日～13日)、2年生の霧ヶ峰移動教室(17日～20日)、3年生の修学旅行(29日～31日)です。全学年がそろうことの少ない1ヶ月ですが、それぞれの学年に応じて目標とすることがある大切な行事であると考えています。

入学して間もない1年生、あらためて全員が御徒町台東中学校の生徒になった、という自覚を持つとともに、集団生活の中での基本的な習慣、「あいさつをする」、「ルールを守る」、「時間を守る」、「身の回りの整理整頓」など、お互いに気持ちよく生活をするための心がけを、細かく指導をしています。また、中学校での初めての運動会に向けて、広いグラウンドで伸び伸びと練習をします。自分たちで考えることよりも与えられたプログラムに従って活動を進めていくことが主ですが、「同じ小学校卒業の友達がいなかったが、オリエンテーションをきっかけに友達ができた。」「オリエンテーションから帰ってきて、中学生になったと実感した。」という卒業生も多く、この時期に行う意義のある行事であると思っています。

2年生の移動教室の中心となる活動は、第二日のハイキングです。台東区の中学校のモデルコースは、全行程を歩くとおよそ17kmです。今回は、時間の都合で鷲ヶ峰に登ることができませんでしたが、それでも、学園を出発して車山肩、蝶々深山、物見岩、八島園地で昼食をとり、学園に戻る13kmを歩ききりました。「ハイキング」とは言え、アップ・ダウンのあるコース、日常生活でも13kmを歩くことはほとんどないでしょう。学園に到着直後、誰もが「疲れた。」といいつつも、出発前の不安そうな表情から一転して晴れ晴れとした様子が見て取れたのは、うれしいことでした。大自然の中で山々の素晴らしい景色を見ながらの13kmが、よい思い出とともに、「達成感」や「やればできる」という自信にもつながったとすれば、移動教室の大きな目標を達成できたといえそうです。

3年生の修学旅行は、奈良・京都を訪ねました。3日間それぞれに計画された自主的な班単位での行動と、世界に誇れる歴史、文化、伝統から学ぶこと、が目標でした。班単位の行動には、個人の旅行と違って「人に合わせること」、「ルールを守ること」、「時間を厳守すること」などが必要だったでしょう。人に合わせるためには、我慢したり譲ったりすることもあったと思います。時折、先生方に叱られることもありましたが、それでも「楽しかった」といえるところに「人と人とのかわり」の妙があると思います。また、千三百年以上も前に都があった奈良・京都には、世界遺産や国宝に指定されている建造物や仏像などがあります。そうした数々の文化財に触れながら、直接見ることでできない千年以上も前の人々の生活や文化に思いを馳せるには、想像力が必要です。その想像力は、日頃の学習と体験によって身につくものであり、みなさんのこれからの生活を豊かにするものであると思います。

私は、1年生には同行できませんでしたが、2年生、3年生とそれぞれ寝食を共にしながら、それぞれの学年のよさもこれからの課題も感じました。さて、いよいよ明日は、全校そろっての運動会です。それぞれの学年らしさを発揮するとともに、自分の学年だけでなく、お互いのかかわりの中で学ぶ、まさに「先輩の背中を見て後輩が育つ学校」につながる運動会になることを期待しています。

「霧ヶ峰オリエンテーション」

1 年 1 組

霧ヶ峰オリエンテーションを終えて、様々な活動をクラスの皆と一緒に学ぶことが出来ました。

初日の自主学習では、部屋で少し騒いだ人がいて皆が勉強に集中できませんでした。しかし、室長が注意してくれたことで静かになり、勉強をすることができました。勉強中、皆がアドバイスをし合うことで、一人で勉強するよりも効率的で、なにより楽しく勉強することが出来たと思いました。今後の学校生活でも、出来る限り皆と一緒に勉強したいと感じました。

二日目、冬にはゲレンデとなる斜面をハイキングしました。霧鐘の丘というそうです。登りきると霧鐘塔があり、そこでクラス写真を撮りました。その時僕は、鐘の傍らに時計があることに気がしました。現代は時計を見ればすぐに何時何分とかわかりますが、昔の人は太陽の影の位置で時間を知るしかなかったのです。そこで、雨や曇りの時はどうやって時間を知らうとしていたのか疑問に感じたので、家に帰ったら調べてみようと思いました。

その日の午後は球技大会で、クラス対抗ドッチボール大会が行われました。僕は球技大会係として、係の皆でオリエンテーション前に何を行うかを決める会議を行いました。クラス対抗以外に男女別や男女混合など、様々な意見が出ました。最終的には多数決でクラス対抗になりましたが、皆が納得できたと思います。当日は楽しく盛り上がることができました。皆の意見を尊重しながらも合意を得る大切さを学びました。

これらの経験を通して、自分自身が成長し、クラスの皆との仲を深めることができたと思います。これからの学校生活も楽しく充実したものにしていきたいと思います。

「霧ヶ峰移動教室を終えて」

2 年 3 組

3 泊 4 日の霧ヶ峰移動教室で学んだことは、集団での過ごし方についてです。集団行動をするうえで大切だなと感じたことが二つあります。

一つめは時間を守ることです。霧ヶ峰では五分行動が基本でした。五分前だから大丈夫、ではなく、五分前には全員がそろって静かに着席をしていることが大切なのだと改めて感じました。早く来て指示が通れば、予定の時間より早く物事を進めることができ、その分長く活動できるというメリットがあるからです。

二つめは、ルールやマナーを守ることです。この二つを守っていなければ、今回の霧ヶ峰移動教室は成功していなかったと思います。そして、全員が楽しめなかったと思います。私は移動教室の期間室長を務めました。班長の仕事には、部屋を出る時に窓を閉じたり電気を消したりする仕事があります。それを忘れてしまうと部屋に昆虫が入ってきてしまい、電気の無駄遣いをしてしまいます。些細な仕事にも意味があるということを、自分で仕事をするを通して気付きました。また、このことはハイキングでも同じでした。登山のマナーや休憩時間の過ごし方など、たくさんの場面でルールやマナーを守ることの大切さを感じました。

霧ヶ峰移動教室を通して学んだことはたくさんあります。先生方や施設の方に教えていただいたことをこれからの学校生活や校外での過ごし方に活用していきたいです。

「修学旅行を終えて」

3 年 4 組

私は修学旅行の三日間で学んだことが二つあります。

一つめは人のあたたかさです。私たちが宿舎に帰ると、宿舎の方たちが明るい笑顔で「お帰りなさい。」と言ってくださったり、地元の人に道を聞いたときには、優しく教えてくださったりしました。また、バスで班員の定期が見つからなかったときは、「降りていいよ。」と言ってもらえ、本当に優しくしていただきました。三日間という短い期間で本当に心があたたかくなったので、私も他の人にそう思ってもらえるような、あたたかい行動を取れる人になりたいと思いました。

二つめは人に流されないことの大切さです。私は今まで他の人と意見が違っても面倒なことになりたくないため、適当に話を合わせてしまうことが多くありました。しかし、今回のコース決めでは自分の行きたい場所をしっかりと主張し、はっきり自分の意見を言えるようになりました。適当に話を合わせるよりもずっと良かったです。自分自身の成長を感じました。

私はこの短い三日間で自分自身がとても成長できたと同時に、生活はいろいろな人が頑張っているおかげで成り立っているということを実感しました。また表面上は目立たなくても、「縁の下力持ち」となっている人が多くいることもわかりました。この三日間の学びを糧に、卒業までの八ヶ月をどう過ごすかよく考え、自分自身が大きく成長できたといえる中学校生活にしたいと思います。